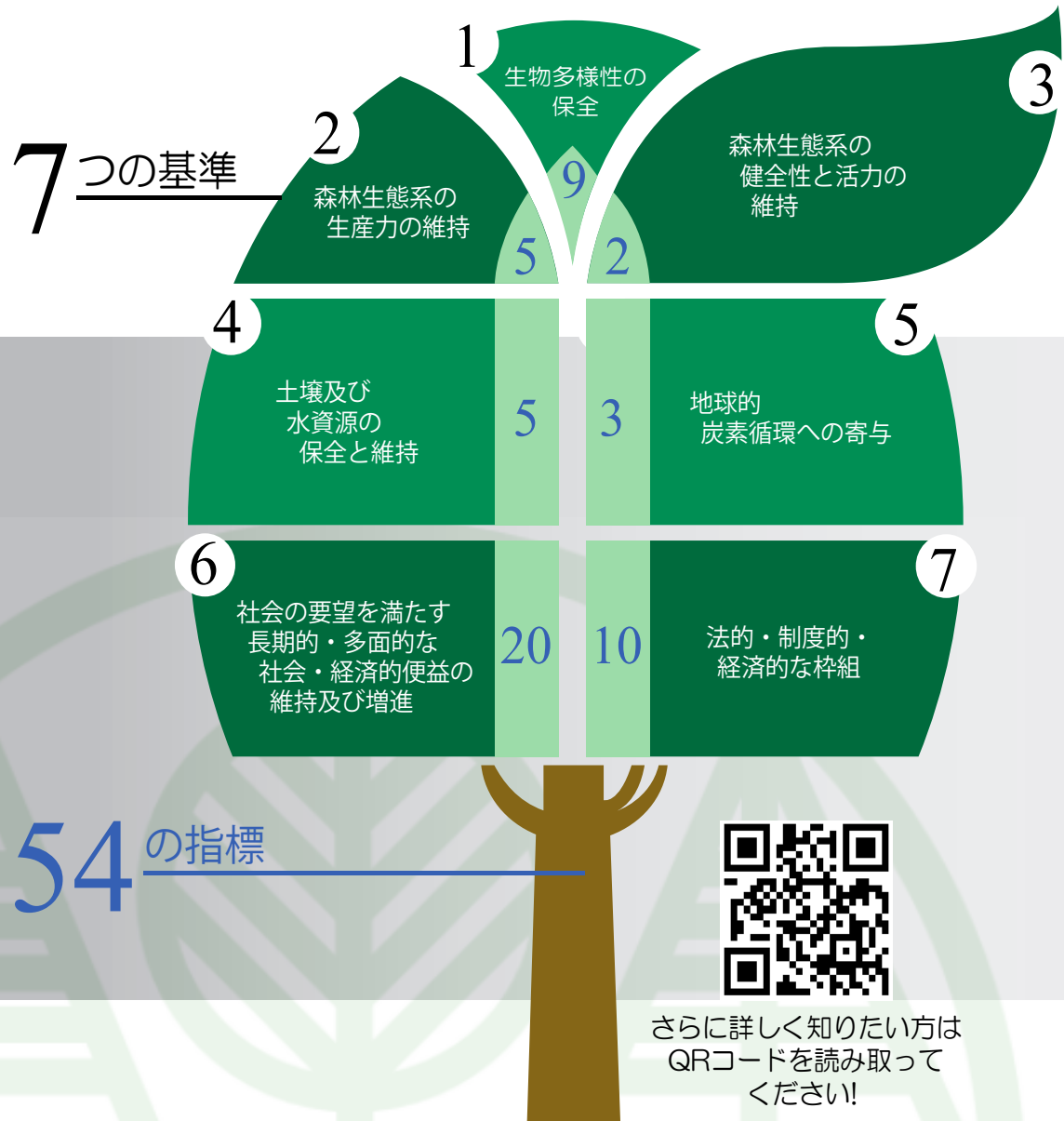


# モントリオール・プロセス

## 多くの言語・多くの文化・多くの森林 – ひとつの枠組 –

7つの基準、54の指標からなるモントリオール・プロセスの枠組は、12カ国の参加国において、森林経営単位から地域レベル、国レベル、さらに国際レベルに及ぶあらゆる規模で実施されてきました。



# モントリオール・プロセス

## 温帯林及び寒帯林の保全と持続可能な経営の基準・指標

モントリオール・プロセスでは多様な社会的、経済的、政治的状況を有する国々が自発的なフォーラムに参加することにより、それぞれの考え方を共有するとともに、共通の課題に取り組むための協力体制を構築し、温帯林及び寒帯林の持続可能な経営という共通の目標に向けた歩みを進めています。

### モントリオール・プロセスの参加国が占める割合

- 世界の森林面積の49%
- 世界の人口の31%
- 世界の温帯林及び寒帯林面積の90%
- 世界の丸太生産量の49%
- 世界の人工林面積の58%

### モントリオール・プロセス参加12カ国



## 一貫した枠組み – 違いを生み出す –

モントリオール・プロセスは、国民及び国際社会に対し、信頼性があり適切な情報をモニター、評価及び報告するため、国際的に合意され一貫性のある基準・指標の枠組を参加各国に提供し、持続可能な森林経営を実証します。

### モントリオール・プロセスの基準・指標の枠組

- 国別報告のプロセスに組込
- 各国の政策や事業の進展を報告
- 各国の法令や森林法に参照
- 各国の森林インベントリ調査と提携
- 各国の林業水準の発展を報告
- 各国の認証システムを補強
- 国際的な報告活動と調和

## 共通言語と比較可能なデータ – 持続可能な森林経営に向けた進展 –

モントリオール・プロセスの参加国間の協力や他の森林関係プロセスの参加により、国別の森林データは様々な報告要件に対してより使いやすく、より多くの人々がアクセスしやすく、経営手法の改善や新たな政策課題への対応により取り組みやすいものとなりました。

詳細については次のURLをご覧ください [www.montrealprocess.org](http://www.montrealprocess.org)



## モンリオール・プロセスの価値

土地の利用が急速に変化する今日の世界において、国際的に合意された基準・指標を活用した共通かつ共有された枠組は、科学者、森林管理者、政策立案者が、地元、地域、国、そして地球規模での森林の持続可能な経営のための適切な情報を評価する助けとなります。



第25回モンリオール・プロセス専門家会合の現地調査  
(チリ、ピジャリカ国立公園、2015年7月)

### 国際的な有用性

モンリオール・プロセスは、持続可能な森林経営に関する報告について国際的なコンセンサスを醸成します。参加国は基準・指標を用いて報告書を作成するとともに、何が持続可能な森林経営を決定づけるのかという理解の進展を踏まえ、継続的に基準・指標を改良しています。モンリオール・プロセスを通して、参加各国は、報告の合理化を行い、地球規模で森林情報の整合性を高めるため、他の基準・指標プロセスや森林関係国際機関と協働することができます。

協同森林資源質問票（CFRQ）の開発により、世界森林資源評価2015（FRA2015）の報告制度をより連携が図れたものとするため、フォレスト・ヨーロッパ（FE）、国際熱帯木材機関（ITTO）、国連食糧農業機関（FAO）の強固な協力体制が確立されました。

### 次へのステップ

- 森林生態系サービスの範囲を盛り込んだ基準・指標の拡大
- 定量的指標の計測を向上させる手法のさらなる開発
- 他の基準・指標プロセスとの連携の促進
- 森林が流域においてどのように立地できるかを示すために当該枠組を適用

## 幅広いスケールにおいて適当な持続的、安定的、包括的な枠組

この完全に自発的な取組は、参加12カ国すべてによる継続的なメンバーシップにより、20年の節目を迎えています。この間、この取組は国内及び国際的な気運の醸成に貢献し、持続可能な森林経営に関する国内及び国際的な理解に大きな影響を与えました。

1992	1993	1994	1995	1996	1997	2003	2007	2008-09	2009	2012	2013~	2015
リオ地球サミット 森林の持続可能性 に関して森林原則 声明及びアジェンダ 21の宣言	温帯林等の持続可 能な開発に関する 国際専門家セミナー (モンリオール、カ ナダ)	モンリオール・プロ セスの作業部会の 設立	サンティアゴ宣言 モンリオール・プロセ スの基準・指標の最 初の枠組を導入	モンリオール・プロセ ス技術諮問委員会 の設立	第1回モンリオール プロセスレポート を提出	第1回国別報告書 及び第1回概要報 告書を提出	基準1-6の指標 改訂	第2回国別報告書 を提出	基準7の指標改訂 第2回概要報告書 “地球規模の森林 に関する課題への 取組に不可欠なプ ロセス—モンリオール プロセス2009”を 公表	世界的な森林に 関する報告の合 理化及び協力の 強化に関するモ ンリオールプロセ ス、ITTO、FE、及 びFAOによる共同声 明を発出	第3回国別報告書 を提出 CFRQが開発され、 合理化された森林 の報告様式を使用	基準・指標の枠組 導入から20年目を 祝福するサンティア ゴ会合 基準・指標プロセス により共同執筆され た世界森林資源評 価2015の作成

## ご存じでしたか？

### モンリオールプロセスの参加国では、

- 1990年以降森林総面積が5,900万ヘクタール増加しました。これはマダガスカルよりも広く、南アフリカ共和国の約半分、フットボール競技場約7,400万個分の面積に相当します。
- 1990年以降人工林面積が7,000万ヘクタール増加しました。
- 森林は様々な目的で管理されており、例えば7億2,300万ヘクタールの森林は主な目的を水土保全機能の発揮としており、1億4,200万ヘクタールの森林は保護林に指定されています。1億4,200万ヘクタールは、EUの面積の約3分の1に相当します。
- 丸太の生産量は、1990年の7億6,300万立方メートルから2015年の9億3,200万立方メートルにまで22%増加し、世界の生産量に占める割合は42%から49%に増加しました。仮に参加国の1年間の丸太収穫量を1立方メートルのブロックにしてつなげて並べると、地球を23周する長さに相当します。
- 2010年には、参加国の森林において1,200万人以上の人々が雇用されました。



森林は地域の住民の福祉と健全な自然環境に不可欠です。持続的な経営により、森林は現在及び未来の世代の便益のために、幅広い経済的、社会的、そして環境的な財・サービスを提供することができます。